

# シリーズ みんなの 医療講座

## 結晶性関節炎

痛風という関節が急に赤く腫れて（炎症）痛くなる病気は有名ですが、若い方にも多く、男性に多い病気です。高齢者（特に八〇歳以上の女性）でもしばしばこれに似た急性の関節炎を起こすことがあります。

痛風が、尿酸という物質の結晶が関節に沈着し、これを排除しようとする免疫反応の結果引き起こされる病気であるのに対して、高齢者の場合はピロリン酸カルシウムという物質の結晶により急性関節炎発作が引き起こされる病気であり、この場合を偽痛風と言いま

す。

このように何らかの物質の結晶によりひきおこされる急性関節炎を結晶性関節炎と言いますが、ほかにもハイドロキシアパタイトなどによるものもあります。

## 偽痛風の特徴

関節炎は背骨を含む全

# 偽 痛 風

## 高齢者の急な関節の痛み

一条通病院整形外科・医長 芳賀 千明

のが確認されます。また発熱を伴い、身動きが取れなくなつて救急車で担ぎ込まれることもあります。

レントゲン写真で関節の軟骨や関節の袋・周囲の靭帯などに石灰化が認められるのが普通で、細菌感染（化膿性関節炎）や痛風を否定できればこれによりほぼ偽痛風と診断されます。

## 偽痛風の治療

水を抜き、炎症を抑える効果の高い薬剤の関節内注射も行います。

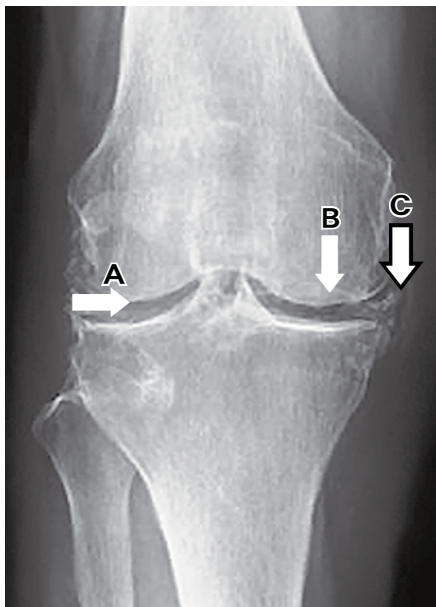
偽痛風に限らず結晶性

関節炎の急性関節炎発作は一〜二週間以内に自然と治まることが多く、その間の痛みに対しての対症療法として、それぞれの関節に対し、安静・固定・冷却・消炎鎮痛剤外用（湿布・軟膏等）を行います。

また消炎鎮痛剤の内服や坐薬も用いられます。実際は関節をほとんど動かせないということも多く、整形外科では炎症の起きている関節のそれぞれに対して貯まった

87歳 女性

右膝半月板(A・B矢印)・  
靭帯(C矢印)  
の石灰化



身に起こりえますが、肩・肘・手首・股・膝・足首など複数部位にわたることもしばしばです。炎症を起こしている関節は熱感があり、圧痛と運動時痛が認められます。関節には濁った水が溜まっている

は確立していませんが、特に高齢者の介護をされている方には、知っていただくだけで慌てたり、不安になったりしなくて済むと考え、今回取り上げました。